

後世へ農地を引き継いでいくために

農地を後世へ引き継いでいくことが、難しくなってきました。農業を支えていく「人の育成」という課題について、長期的な視点に立った取り組みが必要とされています。

農業委員会では、課題解決に向けた試みの一つとして、小中学生を対象とした「子ども野菜づくり体験会」を開催しています。



収穫！とったぞ!!



作業前の荒廃農地



大きく育った作物

手間、暇かけて荒地を整備し
子ども達と植えた大根が
大きく育ちました!



土耕し、施肥



草とりなど、畑の管理



種まき

上田を実り豊かな地とするために

農地は農業者だけのものではありません。安心・安全な食べ物や、食料の安定供給に向けて、みんなで考えていく時がきています。

農地を守る

「上田市農業委員会」



田園の中を走る別所線

農業委員会ってなに?



農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づき、各市町村ごとに設置されている行政機関です。市長から任命された「農業委員」24名と、農業委員会から委嘱された「農地利用最適化推進委員」23名の、計47名で構成されています。

農業に関する悩みなどについて、農家や地域の人たちの声をお聞きして、田・畑・果樹園など農地を守り、農業が盛んになるための活動をしています。



農地の素晴らしい働きに感謝!

「農地」は、お米や野菜を育て、私達に食物を提供してくれる他に、目には見えない素晴らしい働きがあることをご存知でしたか。

田や畑には、一定量の水を貯めておける保水機能があります。大雨が降った際には、大量の水をゆっくり時間をかけながら、川に戻してくれるため、防災の機能が備わっていると云えるのです。



アサギマダラ



マダラヤンマ

また、「農地」の周辺には、美しい景観が広がっており、そこには、カエルやトンボなど、多様な生き物達が住み着き、豊かな生態系が保たれています。このように、「農地」は私達の生活に大きな恩恵をもたらしてくれています。

しかしながら、現在、市内のいたるところに、農地が荒れて、雑草が生い茂っている所が、徐々に増えています。

生命を支える「食」と、安心して暮らせるための「環境」を守っていくために、「農地」を守り、私達の子や孫、その先の未来にまで継承していきましょう。